

水遊び空間における水難事故防止のための監視・パトロール活動回数

(1) 背景

東京湾再生推進会議は、東京湾がどのくらい「安心して水遊びができるきれいな海辺」および「心地よくマリレジャーを楽しめる海」なのかを測るのに、「水遊び空間における水難事故防止のための監視・パトロール活動回数」を指標の一つとしています。

沿岸域の安全に対する対策として安全柵などのハード的な対策がありますが、ハード的な対策を強めるほど人々が海に接することが困難になります。そこで近年ではソフトな対策の一つとして「監視やパトロール」が重要とされてきています。しかし、「監視やパトロール」の重要性の認知度はまだ低いのが現状です。

そこで、皆様の活動をもっと広く知ってもらい、その努力を社会的に徐々に浸透させ、「監視やパトロール」の必要性を広め、東京湾の沿岸域が安心して水遊びができる空間になることを期待しています。

つきましては、皆様の団体が主催した「監視やパトロール」の活動を教えてください。集計への協力をお願いします。

(2) 対象とする活動

- ① 定点監視
- ② 見回りパトロール

(3) 活動の範囲

東京湾沿岸を対象とします。河口域は、第1橋（最も海側の橋）までとします。

(4) 昨年度のデータ

昨年度のデータはとりまとめられ、東京湾再生のための行動計画（第二期）の第1回中間報告に活用されました。また、パネル（別紙参照）を作成し、東京湾大感謝祭での展示を行いました。東京湾官民連携フォーラム HP での掲載も準備中です。

(5) 個人情報

ご記入いただいた個人情報は、本調査に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

(6) 連絡先・提出先

ご不明な点は、下記までご連絡下さい。

東京湾再生官民連携フォーラム 事務局 指標活用 PT

e-mail : index_pt@tbsaisei.com

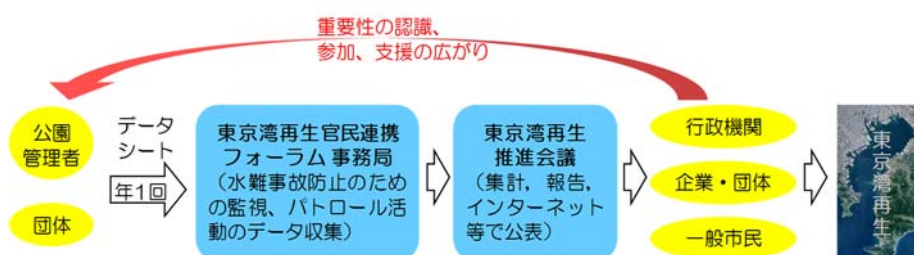
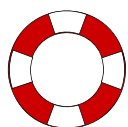


図 東京湾における水難事故防止のための監視・パトロールに関する調査の流れ

水遊び空間における水難事故防止のための 監視・パトロール活動回数

東京湾再生官民連携フォーラム 指標活用PT



集計結果 198回



